

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月30日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島市郡元一丁目1番2号

氏 名 小牧建設株式会社

代表取締役 小牧 隆

電話番号 099-812-6055 担当：東

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小牧建設株式会社
事業場の所在地	鹿児島市郡元一丁目1番2号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：一般土木建築業 小分類：一般土木建築工事業
② 事業の規模	前年度完工高 38億円
③ 従業員数	70名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 産業廃棄物処理工程、産業廃棄物に係る管理体制

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別添 産業廃棄物処理工程、産業廃棄物に係る管理体制			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排 出 量	別添 内訳表	t
	(これまでに実施した取組) 各工事の着手前に施工会議を開催し環境マネジメントシステム (ISO14001)に基づく分別と排出抑制について、具体的な目標を決定すると共に、各現場への新規に入場する全ての作業員に対して、書面による環境側面への取組を説明。毎月の管理票交付枚数・排出数量を本社へ報告し、ISO室にて確認した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排 出 量	別添 内訳表	t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物は工事の受注(工種・内容)により、排出量が大きく左右されることから、来年度の産業廃棄物の発生量(目標)が具体的に決定できないが、分別を徹底しリサイクル可能な資源として。再利用の促進をはかる。 ※目標は、前年度実績を基に減量した数値とする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート殻・アスコン殻が主となる産業廃棄物であることから、徹底した分別を行いリサイクル可能な資源として再利用の促進を図った。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同 上		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	(これまでに実施した取組) 自社で産業廃棄物の再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で産業廃棄物の再生利用は行っていない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
(これまでに実施した取組) 自社で産業廃棄物の中間処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で産業廃棄物の中間処理は行っていない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	(これまでに実施した取組) 自社で産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	t
	全処理委託量	別添 内訳表	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添 内訳表	t
	再生利用業者への処理委託量	別添 内訳表	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添 内訳表	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添 内訳表	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：固形燃料化が可能な施設に委託を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	t
	全処理委託量	別添 内訳表	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後、優良認定処理業者・認定熱回収業者の登録が確認できた場合は、登録業者へ処理委託を検討する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理工程

別添

【トラック等に積み込み】

工事に伴う
コンクリート殻の発生
アスファルト殻の発生

各現場ごとに
場内仮置き場に保管

収集・運搬

(委託)

(委託)

特記仕様書等発注者
指定の中間処理施設
にて処理

自社運搬

(委託)

中間処理施設にて処理

【産廃用コンテナ使用時】

工事に伴う
がれき類・ガラコンくず・廃プラ
紙くず・木くず・繊維くず・混合

各現場ごとに
分別し、コンテナに保管

(借受)

(委託)

収集・運搬

(委託)

中間処理施設にて処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制

小牧建設株式会社：本社
工務本部：建築部長・土木部長

小牧建設株式会社
工務本部：全現場の集計管理

品質管理室
環境ISO14001に基づく確認

作業所毎に管理票の交付・集計
各現場代理人

報告

報告

報告